

平成26年度 カリキュラム委員会（第3回）議事要旨

日時：平成26年9月19日（金） 15:00～15:40

場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室

出席者：委員長 箕島（実施調整部長）

委員 下田（機構長）、竹村（治）（企画開発部長）、堤（文）、中野（文）、竹中（カレッジ）、青野（人）、竹村（景）（言（外））、坂口（法）、青木（法）、福田（経）、関口（経）、小林（理・宮地代理）、杉山（理）、宮崎（理）、藤本（理）、廣野（理）、橋詰（医・佐藤代理）、中村（歯）、下平（基）、北村（言）、三宅（言）、我田（言）、松本（言）、松繁（国公）、中川（博）（情（基））、大谷（国セ）、宮久保（博）、西田（保セ）、清川（サ）、阿部（サ）、森（全教）、坂東（全教）、岩居（全教）、宇野（全教）、山口（全教）、小松（全教）
オブザーバー 梅下（医保）

欠席者：野村（人）、岡村（理）、和佐（医）、中川（晋）（薬）、南方（工）、窪田（全教）

陪席者：田口事務長、都々木教務係長、藤田教務係主任、小坂教務係員

議事に先立ち委員長から、経済学研究科からの委員2名がそれぞれ交代し、新たに「機構長が必要と認める者」として健康・スポーツ教育部門から教授（全教）1名が委員に加わり、あわせて健康・スポーツ教育科目小委員会委員長（科目長）に就任する旨紹介があった。

また、委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料2）の確認があった。

議題：

報告事項

1. 未来共生イノベーター博士課程プログラム履修学生の外国語教育科目の履修について（資料3）

委員長から、資料3に基づき、未来共生イノベーター博士課程プログラム責任者より平成26年度第2学期から第2外国語（全般）及び国際教養2（全般）の履修について依頼があり、言語教育部会長を通じて言語文化研究科で検討した結果、同プログラム履修学生（大学院生）の履修を認めることとした旨報告があった。

2. 平成27年度歯学部入学者の卒業要件単位の変更、先端教養科目「健康・医療イノベーション学Ⅰ・Ⅱ」の必修化及び専門基礎教育科目「基礎有機化学」の必修・選択区分の変更について（資料4）

委員長から、資料4に基づき、歯学部長から機構長宛に依頼があり、医学部の開講する先端教養科目を必修とすること、それに伴う卒業要件単位の変更内容及び合計単位数の増加について報告があった。また、専門基礎教育科目「基礎有機化学」を必修から選択必修へ変更すること、それに伴う「分子化学B」の開講曜日・時限の変更（金曜1限から火曜

2限) について報告があった。

3. 全学教育推進機構教養教育カリキュラム検討WGの設置について (資料5)

委員長から、資料5に基づき報告があった。引き続き、平成29年度の教育改革やスーパーグローバル大学構想などの全学的な動きに伴うWG設置の経緯や構成等について説明があり、WGメンバーをはじめ他の委員にも協力をお願いしたい旨発言があった。

協議事項

1. 平成27年度開講授業科目等について (資料6)

委員長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、本資料を基に後日、各部局長宛に授業担当教員選出の依頼を行う旨説明があった。

2. 教養教育科目 (国際2を除く)・専門基礎教育科目 (文系) の開講枠について (資料7)

委員長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、開講曜日・時限の変更がある場合も、開講可能時間帯以外での開講及び配当は認められない旨説明があった。

3. 平成26年度授業担当非常勤講師等の資格審査について (資料8) 【回収資料】

委員長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、一部の非常勤講師等は北米センター (サンフランシスコオフィス) から推薦された者であり、アメリカ合衆国では職業選択の自由に抵触するため雇用時の年齢確認は必要とされず、したがって、本資料でも生年月日は非公開となっている旨説明があった。

4. 平成26年度授業担当教員等の変更等について (資料9)

委員長から、資料9に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、理学研究科教授の担当科目「解析学B・数学演習B」が非常勤講師 (理学部の経費負担) による担当に変更となることについて、変更は同教授のサバティカル取得に伴うものであり、平成27年度以降は専任教員による担当に戻る予定である旨説明があった。

●その他配付資料

実施調整部のもとに置く委員会の委員構成 (資料1)

カリキュラム委員会 (第2回) 議事要旨 (資料2)

次回開催： 平成26年11月21日 (金) 15:00～ (予定)